

2024年度 農電研修会



産業複合化と熱循環による 第1次産業への取組み

株式会社エヌ・シー・コーポレーション
株式会社アクティブ・リソース



株式会社 エヌ・シー・コーポレーション
N.C.CORPORATION

エヌ・シー・コーポレーションの事業概要

創業年： 1948年 （操業75年） ※当社前身 鳴門化学産業（株）創設年

事業内容： 非鉱物由来カルシウムを主材とした各種健康食品素材、
炭化吸着材、天然原料肥料の製造販売

代表者： 仁志 佳資

主な取引先： 健康食品業界、製糖業界、加工食品業界、肥料業界

従業員： 約50名 ※2024年3月末時点



製品：食品用カルシウム



原料：ホタテ貝殻



原料：魚骨



当社素材の用途例（食品関連）

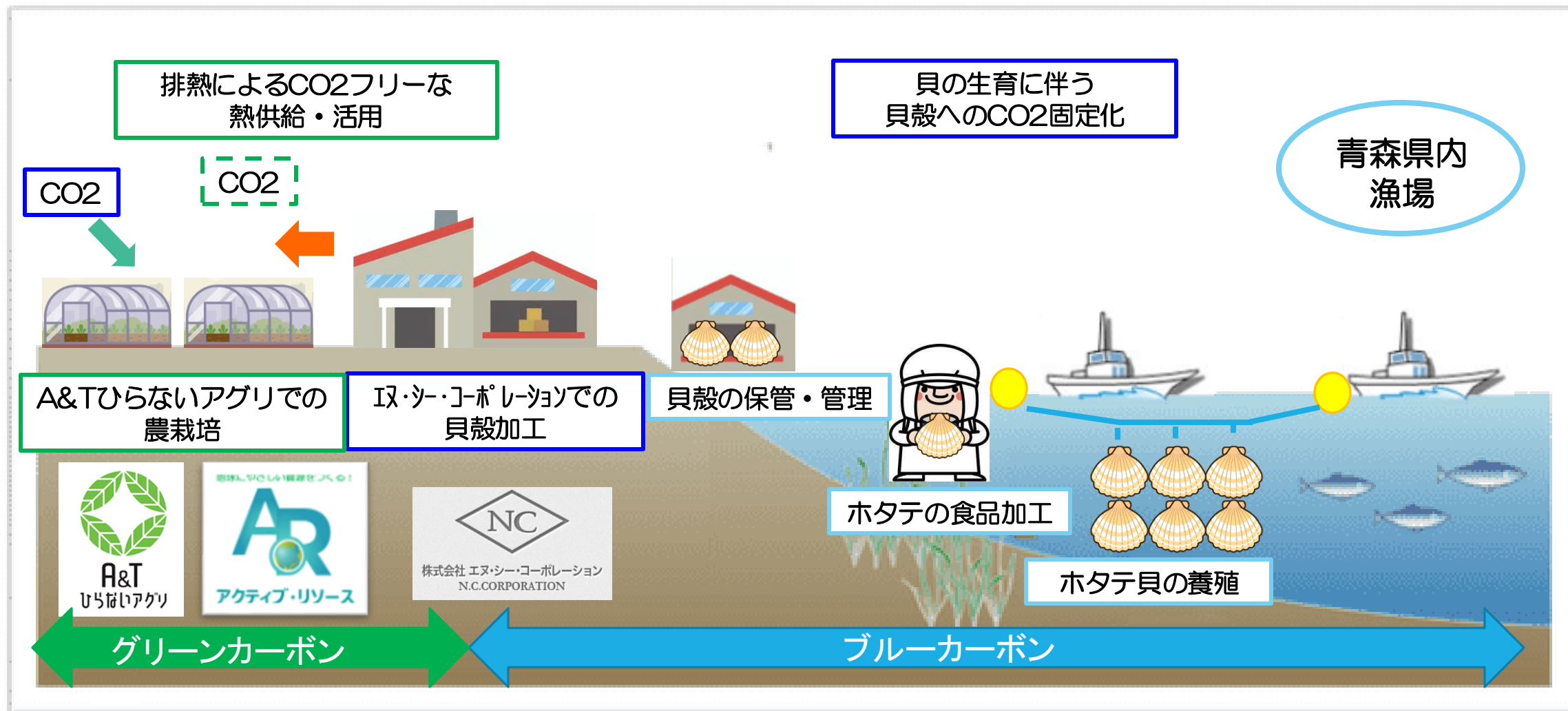
当社天然カルシウムの主要なお取扱い先様

①：健康食品メーカー ②：加工食品メーカー ③：食品添加物等製剤メーカー

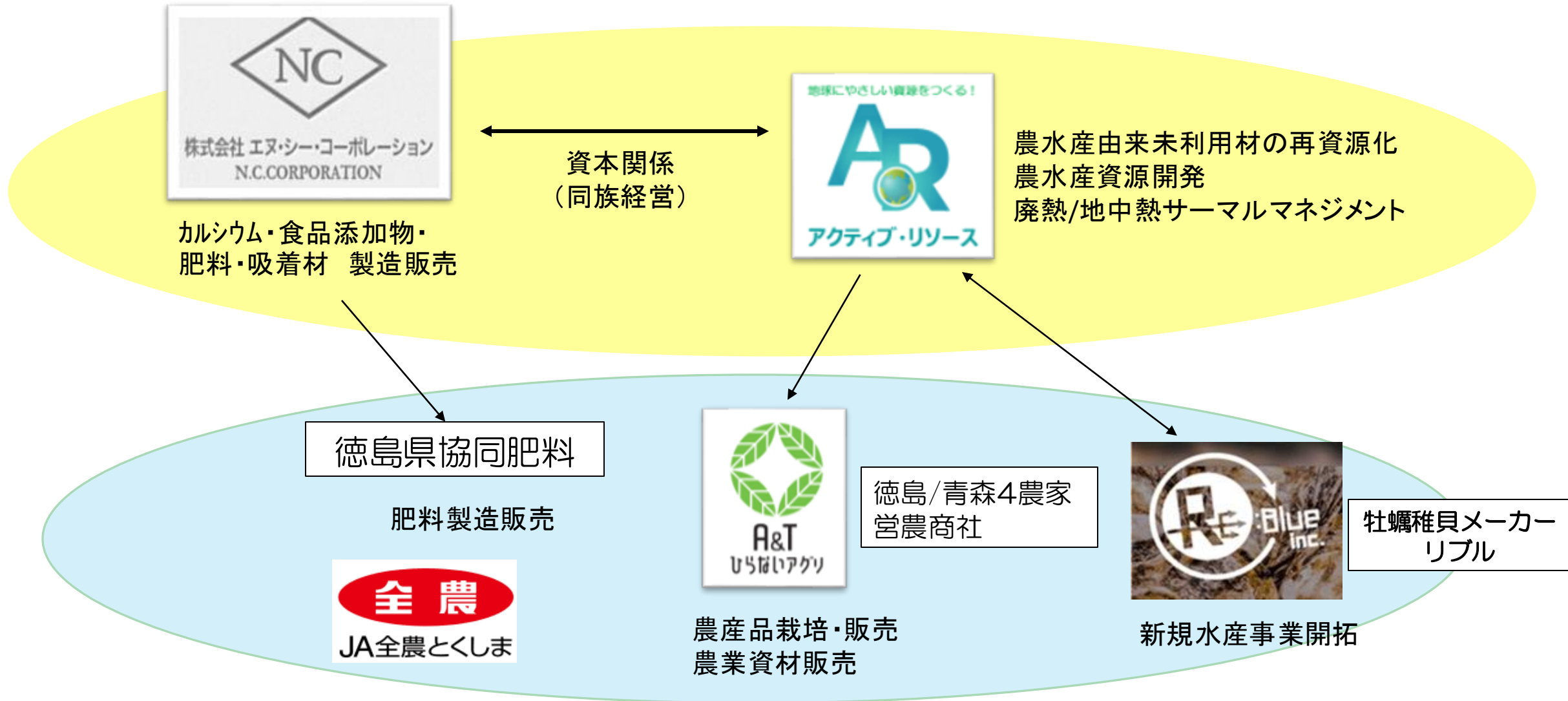
カテゴリー	対象品
栄養機能補助食品 	サプリメント類
水産練物製品 	かまぼこ ちくわ
麺類 	中華風生麺 乾麺（うどん）

カテゴリー	対象品
菓子類 	焼き菓子 幼児菓子 駄菓子
畜肉加工製品 	ハム ソーセージ
こんにゃく製品 	こんにゃく 白滝

ホタテ貝殻を当社が使うまでの流れ



当社グループの事業運営体制



アクティブ・リソースの事業概要

エヌ・シー・コーポレーションのグループ会社をリメイクし、農水資源開発並びに次世代エネルギー開発を主業として発足。

事業内容： 水産由来素材加工、農業法人経営
新規水産事業支援、
熱マネジメント支援、バイオマス発電周辺事業開発

代表者： 仁志 直史

拠点： 徳島・東京・青森

従業員： 5名

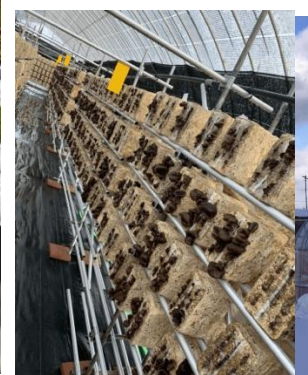


アグリ事業への参画（A&Tひらないアグリ設立）

青森/徳島の農家を中心とした6社の英知を結集し2021年に設立
 青森県で二次熱を活用したアグリビジネスの展開を目指す

事業内容（計画）

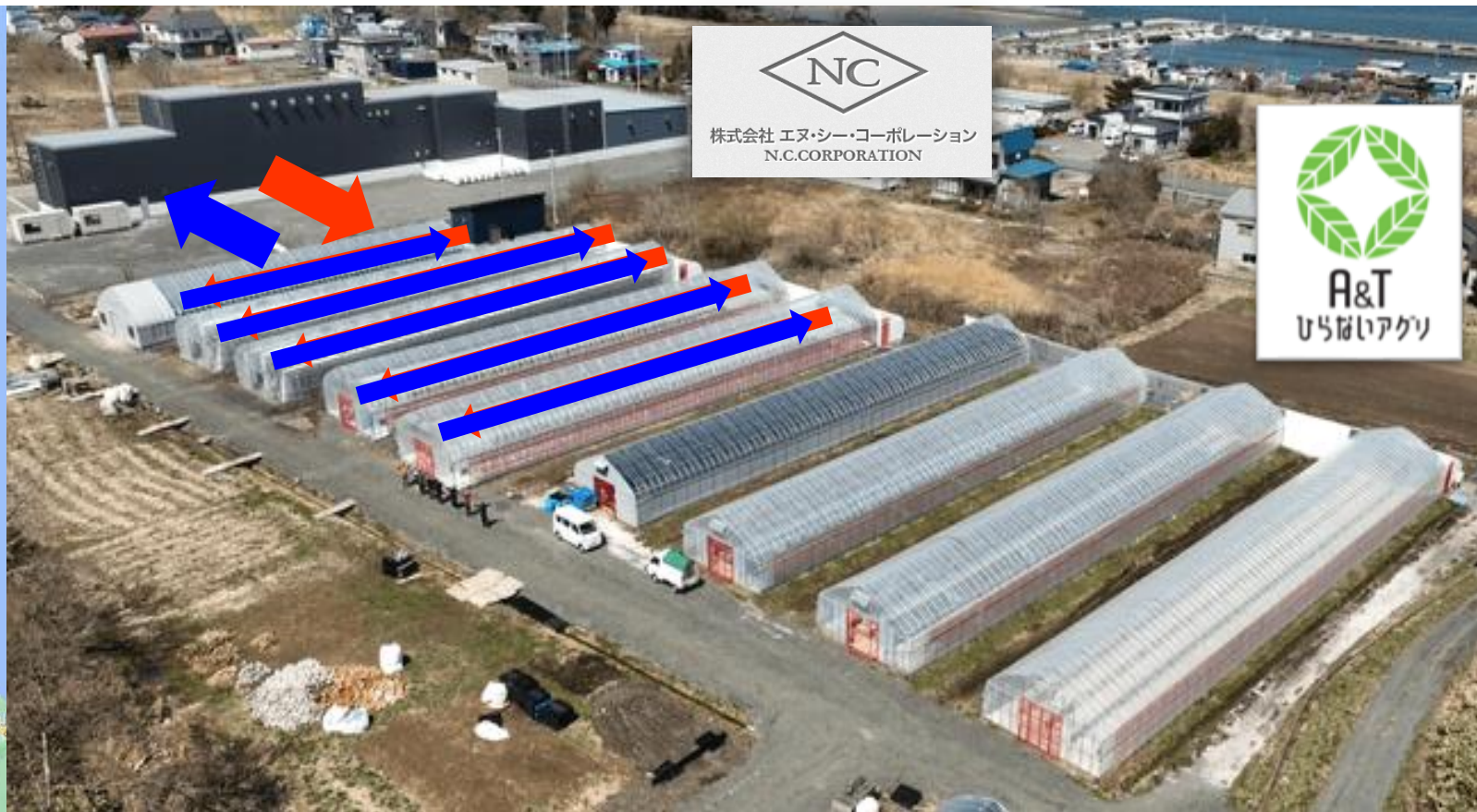
1. 菌床キクラゲ・シイタケ生産
2. 高糖度トマト・イチゴの生産
3. 農業廃材の再資源化（堆肥・燃料）
4. カーボンクレジットの創出



青森での新規事業拠点



青森県
地図

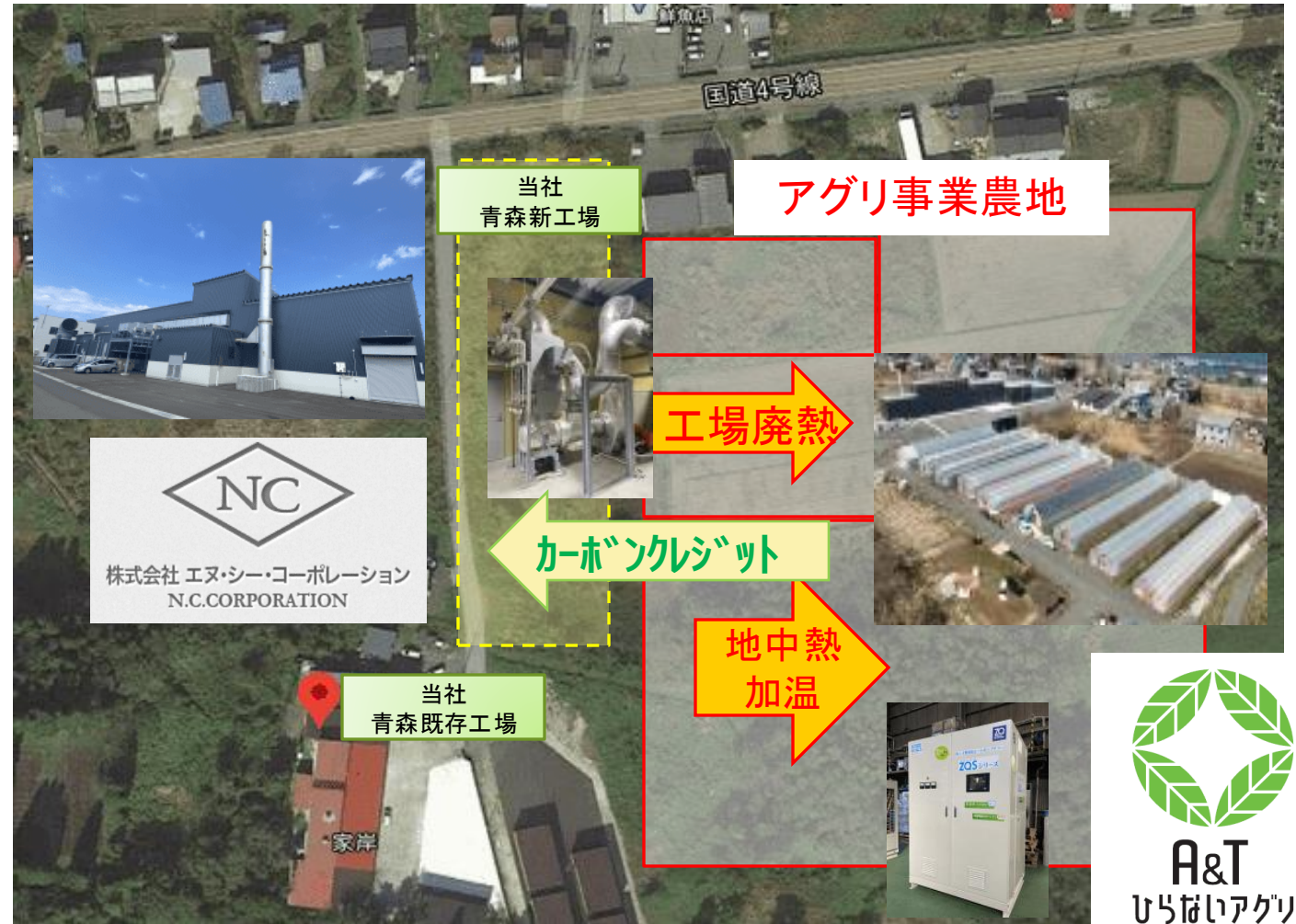


複数の熱源を組合わせハウスに温水供給後、戻り水を工場敷地融雪に使い再加温する

複合型事業への新たな取り組み



- 農地面積15,000平米
(トマト/いちご/キノコを
計9棟=3反の栽培棟で生産)
- NC工場の廃熱回収と転用
- 地中熱による熱源の拡充
→ 寒冷降雪地で越冬栽培目指す
- 素材製造業と農業の協業による
サーマルマネジメント
→ カーボンクレジットの創出



ご提供可能な食材のご紹介

青森イチゴ（高糖度）

青森の気候、当社栽培法に適した品種を選定し栽培

- 「青森の味」として楽しんで頂ける甘さと美味しさをご提供
- ご提供時期 **12月～5月**（加温施設により通常より長い出荷を予定）



フルーツ（高糖度）トマト

青森の気候、当社栽培法に適した品種を選定し栽培

- 「青森の味」として楽しんで頂ける甘さと美味しさをご提供
- ご提供時期 **6月～12月**（加温施設により通常より長い出荷を予定）



高糖度ミニトマト
「なおみ」

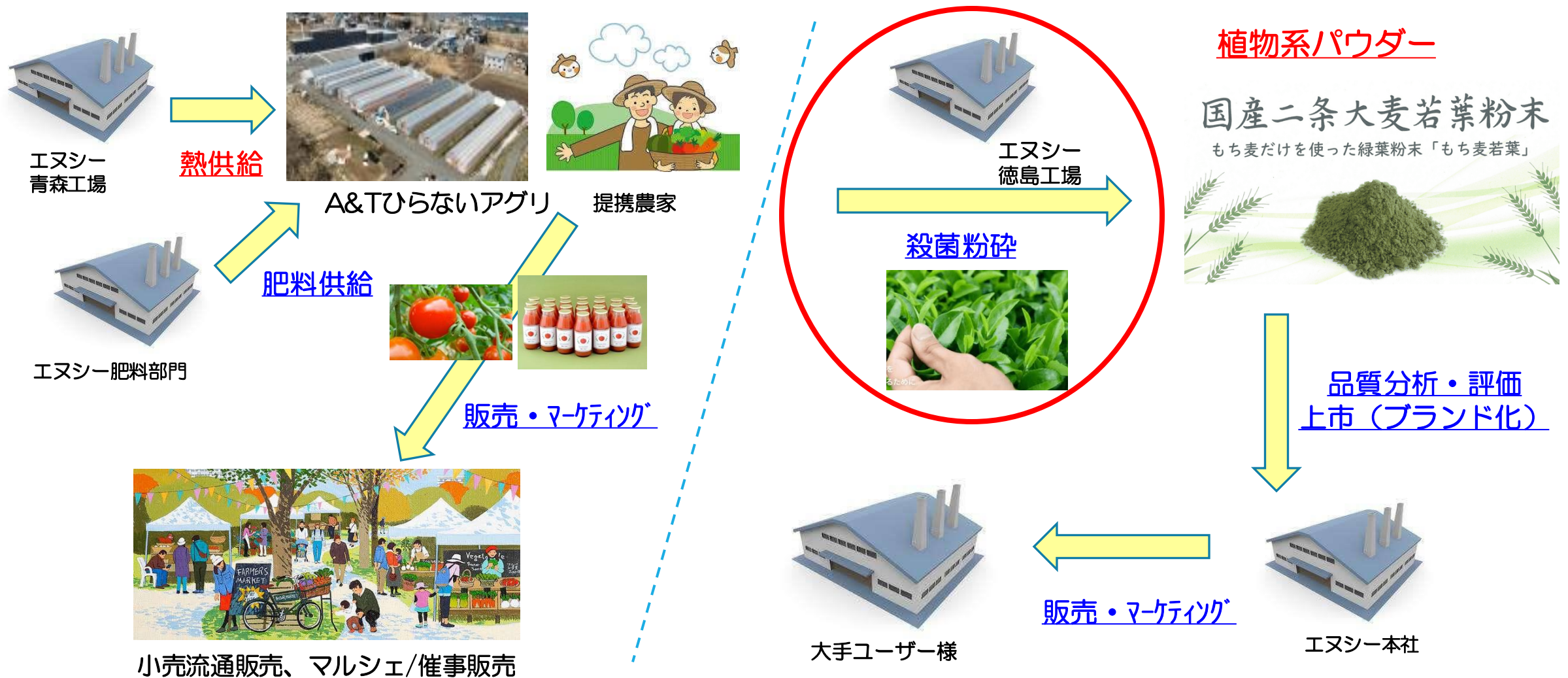
薄皮高糖度ミニトマト
「ぷちぷよ」

青森きくらげ（純国産）

- 青森県で開発され令和2年にデビューした希少な純国産生きくらげ
- 肉厚で歯応えある食感と鮮やかな色合いが特徴
- ご提供時期 **通年**（加温栽培により通年収穫・出荷を予定）



エヌ・シーグループとの事業複合化



水産事業への参画アプローチ

当社は牡蠣養殖業者との協業で貝育成に携わり、良質で安定した貝殻を原料とした素材製造を行う



社名： 株式会社リブル
 所在： 徳島県（県南）
 事業内容： 生食用真牡蠣の稚貝販売



岩本 健輔
 年齢 36歳(2019年現在)
 役職 取締役(生産技術全般責任者)
 出身 静岡県
 前職 民間海洋生物研究所 受託研究・マネジメント
 趣味 釣り
 一言 以前沖縄にもいましたが、沖縄にも負けない海陽町の海へ皆様お越しください。



青森の水産業へアプローチ

八戸市

かつてイカ・サバを中心に全国最大の水揚げ量を誇っていた八戸だが、近年気象変動に起因した海流の変化と魚類生息域の変動で、漁獲量が急減。漁船数も年々減少基調にあり、水産業の立て直しが急がれている。八戸市主導により新しい水産業として養殖業の振興に注力している。養殖候補として当社が提案する新しい牡蠣養殖に関心が示され、今秋に試験養殖を実施。



2024年1月24日
デーリー東北記事



株式会社 エヌ・シー・コーポレーション
N.C.CORPORATION

ご清聴ありがとうございました。

無断複製・転載を禁じます